

平成29年度 第4回 滝野川警察署協議会 議事概要

開催日時 平成30年03月23日 午後01時30分～午後02時45分

開催場所 滝野川警察署講堂  
出席者 協議会委員 7名  
署長ほか 2名

内 容

[業務説明]

- 1 交通事故防止対策推進状況  
管内は、高齢者の交通事故が多く発生しているため、高齢者保護誘導活動、高齢者宅訪問活動について説明した。
- 2 地域警察活動推進状況  
夜間帯におけるパトロールメモの投函を積極的に実施し、侵入盗被害防止対策を講じている旨を説明した。
- 3 指定重点犯罪の発生状況  
特殊詐欺の発生件数が増加傾向にあるため、詐欺被害根絶対策として高齢者宅に対する戸別訪問や被害防止講話等、各種対策の推進状況について説明した。
- 4 協議会からの意見要望の取組結果について
  - (1)平成29年度第3回会議において出された「犯罪抑止の広報として商店街に設置してあるマイク放送を利用すると効果的ではないか。」との要望については、特殊詐欺被害防止を内容とする声を吹き込んだコンパクトテープを作成し、商店街のマイク放送を利用して防止対策を講じた旨を説明した。
  - (2)平成29年度第3回会議において出された「特殊詐欺被害防止用DVDを手軽に借りることができないか。」との要望については、DVDの貸し出しを開始した。  
また、DVD貸出用の広報チラシを作成し、金融機関、コンビニエンスストアに配布した旨を説明した。
  - (3)平成29年度第3回会議において出された「年末に帰省する学生、会社員に対し特殊詐欺被害防止用広報チラシを配布することで、家族を交えた被害防止対策になると思う。」との要望については、専用の広報チラシを作成し、学生、会社員に対し配布した旨を説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容  
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたテロ対策として  
日本でのテロの脅威  
滝野川警察署パートナーシップの取組状況  
テロ対処訓練  
等を説明した上で、更なる効果的なテロ対策のあり方について意見等を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等  
テロ対処訓練を視察したことで、テロの脅威を肌で感じる事ができた。多くの住民の方に訓練に参加するよう働きかけをお願いしたい。  
テロ対策の取り組みを聞き、裏路地にも防犯カメラを設置したり、防犯ステッカーを貼ることでテロ防止につながると思う。  
警視庁が大規模なテロ対処訓練を多く実施していることがわかった。テロ対処訓練の様子を様々なメディアに広報することで効果があると思う。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から「管内にも民泊が増え、外国人を多く見かけるようになった。今後は「防犯カメラ設置」「警察官立寄所」等の警察の広報看板を外国語表記にする必要がある。」との意見があった。
- 2 委員から「若い世代に対して、テロ対策の講義を実施してほしい。」旨の要望があった。
- 3 委員から「飛鳥山交番の若い警察官の対応が親切丁寧であり、若いのにしっかりしていて頼もしく感じた。」との発言があった。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成29年度 第3回 滝野川警察署協議会 議事概要

開催日時 平成29年12月15日 午後01時00分～午後02時15分

|      |          |     |                     |
|------|----------|-----|---------------------|
| 開催場所 | 滝野川警察署講堂 | 出席者 | 協議会委員 7名<br>署長ほか 2名 |
|------|----------|-----|---------------------|

内 容

[業務説明]

- 1 当署の交通事故防止対策推進状況について  
高齢者による人身事故の発生件数が多いため、高齢者交通指導員とともに出前型安全教育を実施した旨を説明した。
- 2 管内の治安情勢について  
前回会議以降の指定重点犯罪の発生状況について説明した。隣接署では、ひったくり被害が増加傾向にあることから当署では被害防止の対策を実施中である旨を説明した。
- 3 主な検挙事例について  
前回会議以降の検挙事例について説明した。特異事件として、海外に出張し通常逮捕した事件について説明した。
- 4 地域に密着した街頭活動について  
前回会議以降の地域警察活動推進状況について説明した。特殊詐欺被害が増加傾向にあるため、巡回連絡等を通じて被害防止用チラシの配布を実施した旨を説明した。
- 5 協議会からの意見要望の取組結果について
  - (1) 平成29年度第2回会議において出された「ハザードマップ等の資料を商店街の休憩所に置いていただきたい。」との要望については、当該休憩所にハザードマップの他に、管内情勢を記載した新聞の設置を実施した旨を説明した。
  - (2) 平成29年度第2回会議において出された「大雨になると冠水が起きる歩道があるので危険である。」との要望については、区に要請し、側溝の整備をした旨を説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容  
犯罪抑止総合対策の推進について
  - (1) 特殊詐欺対策について  
犯人からの電話に出ない対策  
無人ATM対策  
電子マネー対策  
以上、特殊詐欺被害防止のための3つの対策について説明した上で、取組のあり方と実施結果について意見等を求めた。
  - (2) ひったくり対策について  
オートバイストップ作戦の実施  
商店街におけるひったくり防止キャンペーンの実施  
について説明した上で、取組結果について意見等を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等  
効果的な特殊詐欺対策を講じた結果、被害が減少したことが分かった。今後も積極的に出前型の被害防止講話や、戸別訪問を実施していただきたい。  
映像や演劇での被害対策を実施しており、警察が工夫を凝らした犯罪抑止対策を推進していることが理解できた。  
コンビニエンスストア事業者に対して詐欺被害の対策講話を実施したのは効果的な施策であると思う。  
今後もDVDを活用して目に訴える、耳に訴えることを繰り返し継続することが犯罪抑止に繋がると思うので強力に推進していただきたい。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から「年末に帰省する学生・社員に対し広報チラシを配布することで、家族を交えた被害防止対策の話題になると思う。」との要望があった。
- 2 委員から「高齢者に対して、いかに早く最新の詐欺被害対策の情報を伝えるかが重要である。」との意見があった。
- 3 委員から「商店街のマイク放送を利用し被害対策の広報をすることができれば、効果的だと思う。」との要望があった。
- 4 委員から「病院や銀行等人が集まる場所に、被害対策用DVDを流すことができないか。」との要望があった。

- 5 委員から「パトロールメモが投函されていると非常に安心します。年末年始は特に実施していただきたい。」との意見があった。
- 6 委員から「病院の待合室等、高齢者の集まる場所に設置してあるデジタルサイネージを利用して被害対策を講じることはできないか。」との要望があり、署長から「実施を検討します。」と回答した。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成29年度 第2回 滝野川警察署協議会 議事概要

開催日時 平成29年09月28日 午後02時00分～午後03時30分

開催場所 滝野川警察署講堂

出席者 協議会委員 7名  
署長ほか 2名

内容

[前回の答申等に対する警察署の取組結果]

効果的な交通安全対策に関する取組結果

- 1 高齢者の運転免許証自主返納について
- 2 高齢者に対する交通安全対策
- 3 子供に対する交通安全対策
- 4 自転車に対する交通安全対策

[業務報告]

- 1 平成29年6月から8月までの各課の推進状況
- 2 平成29年9月から11月までの各課の推進計画

[諮問]

自然災害対策について

[答申]

自然災害は突発的に起こるので、事前の対応策を住民に広報するなどして対策を強力に推進し、混乱、事故が減るように努力して頂きたい。

[意見・要望等]

- 1 委員から「管内の冠水発生場所を会議で知ることができた。今後も冠水箇所の確認を実施して頂き、把握に努めて頂きたい。」との意見があった。
- 2 委員から「自然災害は突然起こるので、対応が難しい。警察から事前に対応策を住民に指導していく必要があると思う。」との意見があった。
- 3 委員から「豪雨や冠水した際の、車の運転マナーを注意喚起して頂きたい。」との要望があり、署長から「豪雨が発生した場合に、冠水箇所に警察官を配置し、通行止めの措置や拡声器等で注意喚起の広報を実施したい。」と回答した。
- 4 委員から「ハザードマップや警察が発行している震災対策の資料を商店街の休憩所等に置いて頂けると、多くの住民の目に付くので配布して頂きたい。」との要望があり、署長から「実施を検討したい。」と回答した。
- 5 委員から「東京に大震災が起こる前に、警察から震災に対する資料を配布したり、対応策を住民に発表していく必要があると思う。」との意見があった。
- 6 委員から「東日本大震災の時に、管内所在の橋付近に多くの人々が滞留したので、案内板等を設置するなどの対策が必要である。」との意見があった。
- 7 委員から「自然災害に対して、警察が果たす役割は重要であるが、住民同士の助け合いも必要であると思う。ドライバーに対し、豪雨時の運転の仕方について広報する必要がある。」との意見があった。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成29年度 第1回 滝野川警察署協議会 議事概要

開催日時 平成29年06月16日 午後02時00分～午後03時45分

開催場所 滝野川警察署講堂  
出席者 協議会委員 7名  
署長ほか 2名

内 容

会議に先立ち、委員互選により会長及び副会長2名が選出された。また、署長より委員に対し、選挙に関する留意事項が伝達された。

[前回の答申等に対する警察署の取組結果]

街頭防犯カメラをはじめとする防犯カメラの設置拡充に関する取組結果

- 1 街頭防犯カメラ設置状況
  - (1)平成28年度末までに設置された地区及び台数
  - (2)平成29年度末までに設置予定の地区及び台数
- 2 防犯カメラを活用した検挙例
  - (1)窃盗事件犯人検挙
  - (2)侵入窃盗事件犯人検挙
- 3 街頭防犯カメラ設置式典の実施
  - (1)式典の概要
  - (2)設置町会に対する感謝状贈呈
  - (3)テープカット(灯入れ式)の実施

[業務報告]

- 1 駐車監視員活動ガイドラインについて
- 2 平成29年3月から5月までの各課の推進状況
- 3 平成29年6月から8月までの各課の推進計画

[諮問]

効果的な交通安全対策について

[答申]

交通マナーの向上に関して、工夫を凝らした効果的な交通安全教育を根気よく実施して頂き、管内の交通事故が減少するよう努力して欲しい。

[意見・要望等]

- 1 各課の業務報告実施後に、委員から「最近の指定重点犯罪の発生は、どんな特徴があるのか。」との質問があり、署長が「特殊詐欺が増加傾向で様々な手口が出現している。」と回答した。
- 2 委員から防犯カメラ活用による窃盗犯人の検挙例に関して、カメラの設置経緯の質問があり、署長が事件発生からカメラの設置、検挙に至った経緯を説明した。
- 3 委員から「交通事故防止のため、若い世代、特に学生を中心とした交通安全教育を継続的に実施する必要がある。」との意見があった。
- 4 委員から「裏通りで、子供の飛び出しがあるので、カーブミラー設置と子供への安全教育の双方の推進が必要だと思う。」との意見があった。
- 5 委員から「信号を守らないのは子供より大人ではないか。高齢者に対し、自分の身は自分で守ることの大切さを根気よく伝えていくことが大切だと思う。」との意見があった。
- 6 委員から「高齢になっても自動車の運転をしている人が多い。法定の高齢者講習以外にも、運転をする高齢者を対象とする勉強会等を開催すれば効果があるのではないか。また、交通事故の現状をしっかりと伝えていけば、運転免許の自主返納につながると思う。」との意見があった。
- 7 委員から「自転車が車道と歩道を出たり入ったりして危ない。また、車道における右側通行や信号無視も多く見かける。歩行者も自身を守るため注意しなければ事故が発生してしまう。歩きスマホの危険性をもっと知ってもらふ必要がある。」との意見があった。
- 8 委員から「道路の狭い商店街等には、自転車を降りて通行するよう注意喚起の看板等が設置されているが、法的な拘束力がないため、スピードを出して走る人が後を絶たない。警察からもマナー向上を呼びかけてもらえば、交通事故防止につながると思う。」と意見があった。
- 9 委員から「自転車の事故が多いことが理解できた。具体的にどこでどんな形態で自転車の事故が起きているのか等、自転車の事故に特化した統計や分析を行って、そのデータを基に安全対策をとれば更に効果があるのではないか。」と意見があり、署長が「実施を検討したい。」と回答した。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成28年度 第4回 滝野川警察署協議会 議事概要

開催日時 平成29年03月10日 午後01時00分～午後02時30分

開催場所 滝野川警察署講堂

出席者 協議会委員 7名  
署長ほか 2名

内容

[前回の答申等に対する警察署の取組結果]

- 1 「更なる特殊詐欺被害防止対策」の取組結果について
- 2 西ヶ原地区一方通行路逆行車両対策について

[業務報告]

- 1 平成28年12月から平成29年2月までの各課の業務推進結果
- 2 3月から5月までの各課の業務推進計画

[諮問]

街頭防犯カメラをはじめとする防犯カメラの設置拡充について

[答申]

防犯カメラの防犯効果についてよく理解できた。また、捜査活動に大変役立っていることも理解できたので、今後も設置拡充できるよう住民に働きかけていきたい。

[意見・要望等]

- 1 委員から「防犯カメラが安全の確保や犯罪の検挙に有効であることは理解できたが、費用対効果について検証はなされているのか。」との質問があり、署長が「費用対効果を図ることは難しいが、数字として捉え、設置以前と現在の犯罪発生状況や検挙率という数字で検証することは可能である。今後そういった検証結果を設置自治会等に還元していくことも必要であると考え。」と回答した。
- 2 委員から「防犯カメラ設置の補助金制度について更に詳しく知りたい。」と要望があり、署長が詳しく説明を実施した。
- 3 委員から「町会としてどんな場所に防犯カメラを設置すれば効果が高いのか迷うところだ。」との意見があり、署長が「町会で設置計画があれば当署生活安全課で設置箇所のご相談に応じている。」と回答した。
- 4 委員から「子供たちの安全のため、公園に防犯カメラが設置されれば良いと思う。」と意見があり、署長が「公園の管理者は区となるが、現在のところ当区は設置がない。警察としても今後、区に働きかけていくが、住民の皆さんも声を上げて頂きたい。」と回答した。
- 5 委員から「設置年度によって防犯カメラの性能に違いがあり、画像の精度も違うが、古い機種を交換する予定はあるのか。」と質問があり、署長が「カメラの交換は現在の補助事業の対象にはなっていない。」と回答した。
- 6 委員から「今後新築共同住宅が防犯カメラ設置助成の対象になっていくと聞いたが、私立の教育機関には助成がない。今後、教育機関も助成対象になればありがたい。」と意見があった。
- 7 委員から「防犯カメラの効果を知り、大変参考になった。私の事業所でも設置拡充をしていきたい。」と意見があった。
- 8 委員から「4年間協議会委員を務めたが、長く地元に住む者として少しでも力になれたのではないかと感じている。」と意見があった。
- 9 委員から「警察の業務について知る機会が無かったが、協議会を通じて、警察が私たち住民のことをこんなに考えてくれていることを知り、心強く思った。また、相談には必ず答えをくれることを知り、嬉しかった。今後も警察活動に協力したい。」と意見があった。
- 10 委員から「協議会では委員全員が街のことを真剣に考えていると知り、嬉しく思った。」と意見があった。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成28年度 第3回 滝野川警察署協議会 議事概要

開催日時 平成28年12月16日 午後01時00分～午後02時45分

開催場所 滝野川警察署講堂  
出席者 協議会委員 5名  
署長ほか 2名

内 容

[前回の答申等に対する警察署の取組結果]

- 1 重大交通事故防止対策の実施について
  - (1) タクシー会社に対する安全教育
  - (2) 自転車対策
  - (3) 時間待ち駐車車両に対する指導警告
- 2 西ヶ原地区裏通りにおける交通規制の調査結果について

[業務報告]

- 1 平成28年9月から11月までの業務推進結果
- 2 平成28年12月から平成29年2月までの業務推進計画

[諮問]

更なる特殊詐欺被害防止対策について

[答申]

継続的な被害防止対策に加えて新たな視点で取組み、特殊詐欺の根絶を目指して欲しい。管内住民としてできる限りの協力をしたい。

[意見・要望等]

特殊詐欺被害防止対策についての委員の意見

- 1 委員から「広報で」：COMを活用しているが、より多くの方が視聴できるよう民放を利用し、有名なアナウンサーや解説者などで特集番組を組んでもらえばわかり易く、興味を持ってもらえるのではないかと意見があった。
- 2 委員から「民間企業は年末年始は休みになり、里帰りをする人が多いので、分かり易いチラシを作成して配布し、家族の団らんの時間に話題を提供してもらえば、被害防止につながるのではないかと意見があり、署長が「すぐに実施したい。」と回答した。
- 3 委員から「会議などを催しても、人を集めるということは難しい。もともと高齢者が集まっている、区民センターや福祉施設のデイサービスに来ている方々等に講演に出向く方が多くの方に周知できるのではないかと意見があった。
- 4 委員から「年配の方は細かい字がびっしり書かれた資料などは面倒なのであまり読まないと思う。一目で内容が分かるような視覚に訴えるチラシを配布したり、インパクトのあるポスター等を作成し、病院や施設等に掲示してもらえば効果があるのではないかと意見があった。
- 5 委員から「管内の専門学校等の学生も地方出身者は帰省をする。子や孫の世代への広報を実施し、チラシを持ち帰らせて家族で話し合う機会を持ってもらえば効果的ではないかと意見があり、署長が「すぐに実施したい。」と回答した。
- 6 委員から「一般家庭に個別に訪問する業種の企業等に協力を依頼し、高齢の方がいたらチラシを配布してもらえるような連携をすれば、警察だけの活動がもっと広がるのではないかと意見があった。
- 7 委員から「介護の資格取得を目指している学生は、実習もあるし将来は高齢者と接する機会が多い。学生のうちに教養しておけば効果が出るのではないかと意見があった。
- 8 委員から「高校生や中学生にボランティア活動の取組みとして高齢者宅への訪問をしてもらえば一生懸命取り組んでくれると思う。」と意見があった。

署長意見

以上の意見に対し、署長が「今後の特殊詐欺被害防止対策につき、皆様のご意見をもとに検討し、順次実施して参りたい。」と述べた。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成28年度 第2回 滝野川警察署協議会 議事概要

開催日時 平成28年09月30日 午後01時00分～午後02時45分

開催場所 滝野川警察署講堂  
出席者 協議会委員 7名  
署長ほか 2名

内 容

会議に先立ち、青木副会長から第十方面警察署協議会代表者会議への参加報告があった。

[前回の答申等に対する警察署の取組結果]

- 1 犯罪抑止総合対策の実施結果について
- 2 企業におけるサイバー犯罪対策について

[業務報告]

- 1 6月から8月までの業務推進結果
- 2 9月から11月までの業務推進計画

[諮問]

重大交通事故防止対策の推進

[答申]

自転車の安全教育をはじめとする各種交通事故防止対策を強力に推進し、交通事故が一件でも減るように努力して頂きたい。

[意見・要望等]

- 1 委員から「7月に死亡事故が起きた交差点は署境だが、境界線はどのように決まっているのか。」と質問があり、署長が「基本的には行政区の境界線で分かれているが、隣接署との協定により取り決めていることもある。」と回答した。
- 2 委員から「自転車の運転者がイヤホンを入れたり、スマートフォンを操作しながら走行していたりするのを見かける。学校での安全教育に力を入れて欲しい。またその際は保護者に対する指導もして欲しい。」との要望があった。
- 3 委員から「学校における自転車教室はどのくらい行っているのか。」と質問があり、署長が「実際に自転車に乗車して行う実践的な安全教育は今年4件実施している。」と回答した。
- 4 委員から「自転車が車道を走るようになってきているが、私自身は怖いので歩道を走っている。歩道で歩行者と自転車がそれぞれ通行するスペースを分ければより安全ではないか。また、車道の中央を走っている自転車もいるので車道にも自転車通行帯を作ればよいのではないか。」との意見があった。
- 5 委員から「タクシードライバーのマナーが悪いと感じることがある。命を預かる仕事なので、しっかりと指導して欲しい。」との要望があった。
- 6 委員から「交差点の巻き込み事故防止対策として、ポストコーンの設置をしたとの説明があったが、走行車が速度を緩めるので、とても有効だと思う。」と意見があった。
- 7 委員から「大通りで時間待ちをしているトラックが多く、車線を塞いでいるので指導して欲しい」と要望があり、署長が「指導、警告をしていく。」と回答した。
- 8 委員から「死亡事故はタクシーだったと聞いたが、ドライブレコーダーの画像はあったのか。」と質問があり、署長が「画像は事故の分析の参考とした。」と回答した。
- 9 委員から「駐車違反の取締りについては、幹線道路と妨害性の少ない裏通りとは区別した方がよい。」との意見があった。
- 10 委員から「北区西ヶ原の裏通りに変則的な交差点があるが、交通規制がわかりにくいのか、一方通行を逆行してくる車両を時々見かけるので改善して欲しい。」と要望があり、署長が「調査し、必要に応じた措置をとる。」と回答した。
- 11 委員から「自動車の安全装置はオプションが多いが、標準装備を義務化すれば良いのではないか。」と意見があった。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。



平成28年度 第1回 滝野川警察署協議会 議事概要

開催日時 平成28年06月10日 午後01時10分～午後03時20分

開催場所 滝野川警察署講堂  
出席者 協議会委員 7名  
署長ほか 2名

内容

会議に先立ち、委員に対し、署長から選挙に関する留意事項の指示があった。

[前回の答申等に対する警察署の取組結果]

- 1 適切な犯罪被害者支援の実施に関する取組結果
- 2 自転車のマナー向上に対する取組結果
- 3 路上放置自転車の撤去等について

[業務報告]

- 1 3月から5月までの業務推進結果
- 2 6月から8月までの業務推進計画

[諮問]

犯罪抑止総合対策の推進

[答申]

住民にとって身近な犯罪が1件でも少なくなるように取り組んで頂きたい。特に振り込め詐欺やひったくりなど、高齢者が被害に遭う犯罪は、警察と住民とが協力して抑止していきたい。

[意見・要望等]

- 1 委員から「振り込め詐欺の被害防止のため、ケーブルテレビで注意喚起しているとのことだが、もっと高齢者の視聴率が高い番組や、被害が多発している時間帯の民放で広告を流すことが効果的なのではないか。」との意見があった。
- 2 委員から「私の居住地域にはまだ防犯カメラが設置されていない。居住者からの承諾を得るのに苦労しているようだ。警察からも働きかけてもらえないだろうか。」と要望があり、署長が「設置に向けて協力を得られるよう警察としても働きかけていく。」と回答した。
- 3 委員から「放置自転車の対策を速やかに実施して頂いたのが路上が安全になった。住民も感謝している。」との意見があった。
- 4 委員から「北海道で行方不明になった児童が発見されたが、この捜索に関し家族が費用をいくら位負担するのか。」と質問があり、署長が「捜索に当たった者は、ほぼ全てが公務員であり、費用を請求することはない。」と回答した。
- 5 委員から「サイバー犯罪に関し、個人情報保有する民間企業としてどのような対策を講じればよいのか。」と質問があり、署長が「最近の事例等も踏まえ、次回に紹介する。」と回答した。
- 6 委員から「ネットで爆破予告があった場合の警察の対応を知りたい。」と質問があり、署長が「情報入手と同時に関係機関と連携し、対象の安全を確保するとともに発信元の特定をする。対象が曖昧な場合でもパトロールを強化して安全確保に努める。」と回答した。
- 7 委員から「インターンシップを初めて実施することだが、今まで実施していなかったのは何故か。」と質問があり、署長が「個人情報を取り扱う業務が多いため、難しいとされていた。検討を重ね、その問題をクリアして実施する運びとなった。」と回答した。
- 8 委員から「職場の同僚が路上で酔っ払いに絡まれ、パトロール強化のお願いをしたが結果の連絡がこなかった。連絡をもらうことはできないのか。」と質問があり、署長が「広聴処理という制度に乗せ、要望に基づいて通知することができる。担当者が住民の要望をしっかりと把握できるよう署員に対する教養を徹底する。」と回答した。
- 9 委員から「メールけいしちょうの案内があったが、とても良さそうなので持ち帰って職場の仲間にも紹介する。」との意見があった。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。